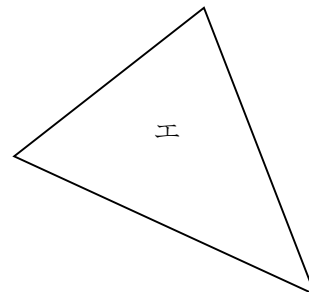
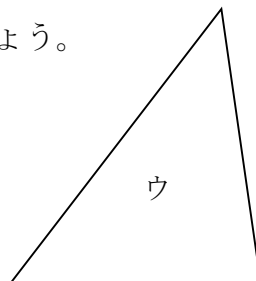
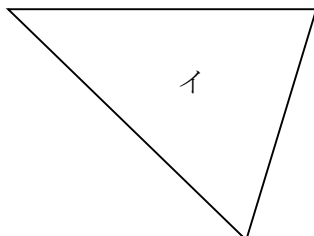
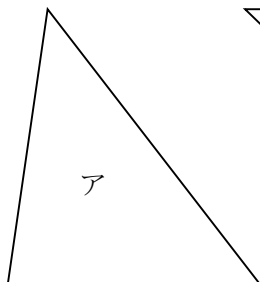


練習してパワーアップしましょう

ホップ

名前()

合同な図形が2組あります。どれとどれでしょう。



答え 1組目()と() 2組目()と()

ステップ

1 次の三角形をかきましょう。

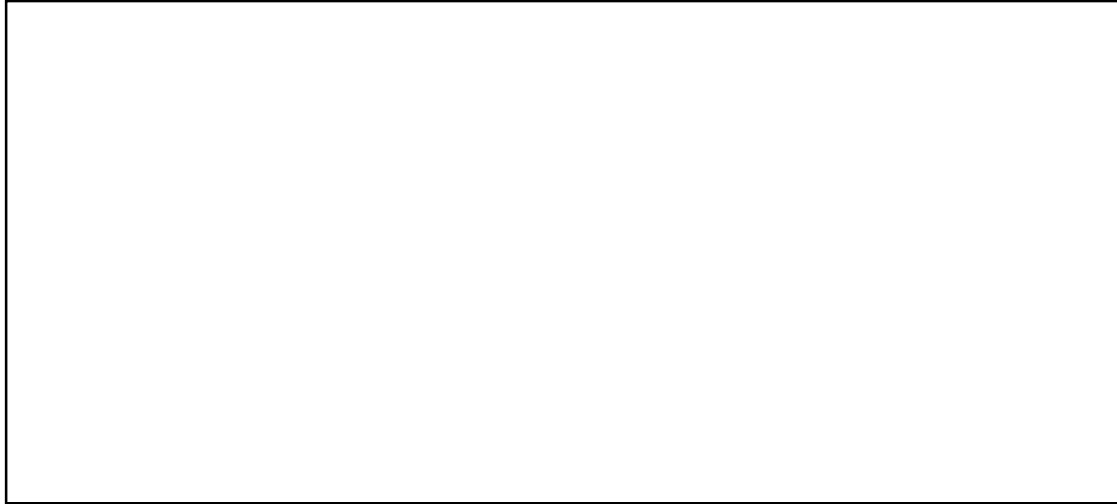
(1) 2つの辺の長さが5 cm、6 cmで、その間の角の大きさが 50° の三角形



(2) 1つの辺の長さが8 cmで、その両はしの角の大きさが 40° と 45° の三角形

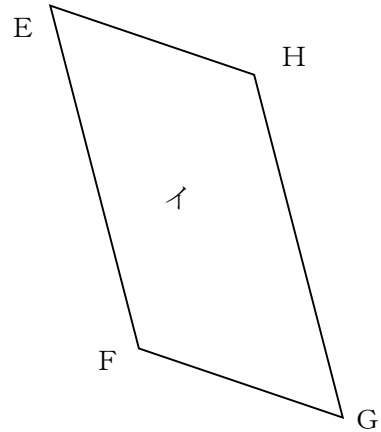
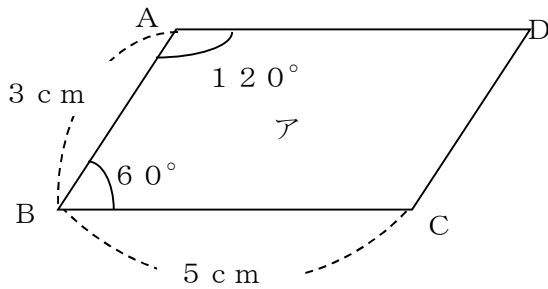


(3) 3つの辺の長さが8 cm、6 cm、5 cmの三角形



2 下のア、イの四角形は合同です。辺FGの長さは何cmですか。

また角Fの大きさは何度ですか。



答え 辺FG: _____ cm

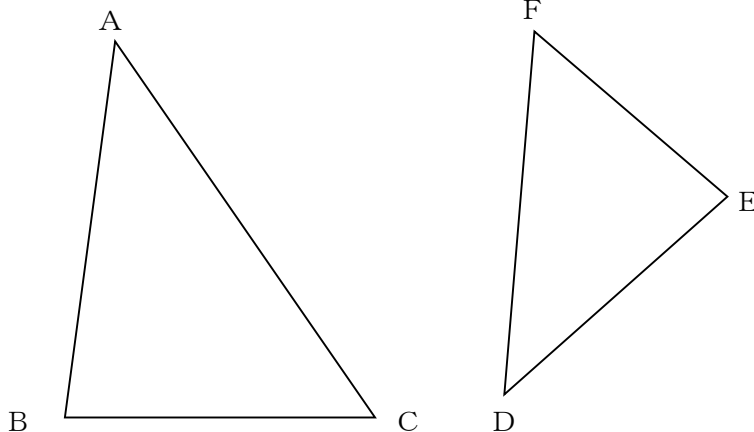
答え 角F: _____

ジャンプ

下の二つの三角形で、角Aと角D、角Bと角E、角Cと角Fの大きさは、それぞれ等しくなっています。

2つの三角形は合同であるといえるでしょうか。

() に○を書きましょう。またそのわけも説明しましょう。



() 合同である。
 () 合同ではない。

(理由)

.....

.....

.....

《解答》

ホップ

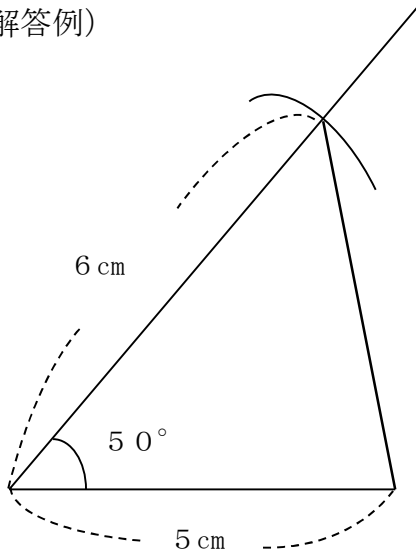
1組目：アとウ

2組目：イとエ

ステップ

1 (1) 2つの辺の長さが5 cm、6 cmで、その間の角の大きさが 50° の三角形

(解答例)



大切な考え方2の「合同な三角形のかき方1」を使ってかくよ。

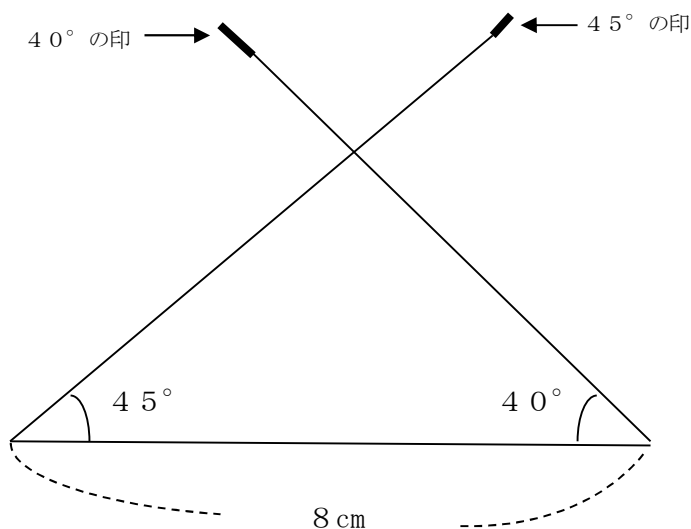
左の図のかき方は次の通りだよ。

- ① 5 cmの直線を引く。
- ② 分度器で 50° を測り、直線を引く。
- ③ コンパスを使って6 cmのところに印を付ける。
- ④ 直線で結ぶ。

はじめの直線は6 cmを使ってもかくことができます。かき方は同じだよ。

(2) 1つの辺の長さが8 cmで、その両はしの角の大きさが 40° と 45° の三角形

(解答例)



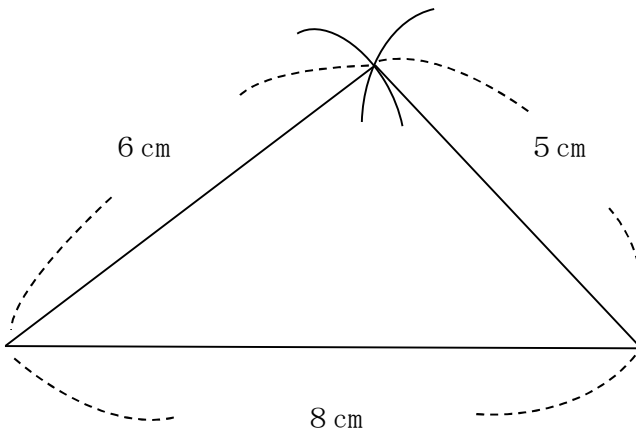
大切な考え方2の「合同な三角形のかき方2」を使ってかくよ。

左の図のかき方は次の通りだよ。

- ① 8 cmの直線を引く。
- ② 分度器で 45° と 40° それぞれを測り、印を付ける。
- ③ それぞれの頂点と印を直線でつなげる。

はかる角度は左右逆でもだいじょうぶだよ。


(3) 3つの辺の長さが8 cm、6 cm、5 cmの三角形



大切な考え方2の「合同な三角形のかき方3」を使ってかくよ。
 左の図のかき方は次の通りだよ。

- ① 8 cmの直線を引く。
- ② コンパスで6 cm、5 cmを測り、印を付ける。
- ③ 印が重なった点に直線を引く。

今回、はじめの直線に8 cmを選んだけど、はじめにどの長さを選んでも、かき方の手順は同じだよ。



2 辺FG : 3 cm 角F : 120°

ジャンプ

- () 合同である。
- (○) 合同ではない。

理由

対応する角の大きさは等しくても、
 対応する辺の長さが等しいとは限らないから。

角度は等しくても、辺の長さはちがうことがあるんだね。まるで、コピー機で大きくしたみたいだね。このような図形については、6年で学習するよ。

